

平成22年
第 78 号

大 鉄 協

2 月20日
発 行

大阪鉄螺卸商協同組合

<http://www.daibyokyo.com>



日本の表玄関からアジアの玄関へ (羽田) 藤澤 義弘

- ◇「年頭所感」
橋下 徹 大阪府知事… 2～3
- ◇「年頭所感」 池田哲雄理事長… 3
- ◇平成22年新春合同互礼会… 4
- ◇組合だより… 5
- ◇委員会だより… 5～7
- ◇支部だより… 7～8
- ◇寅年生まれ経営者アンケート… 9～12
- ◇**特別寄稿** (前野幸司) … 12～13
- ◇OS会の頁… 13～14
- ◇第5回大鉄協親睦ゴルフコンペ… 14
- ◇**特別寄稿** (由良豊一) … 15～17

目

次

- ◇随想投稿欄… 17～21
(小林 敬、三木茂晴、藤森勝治)
(佐藤裕英、水谷 肇)
- ◇工場見学&研修会… 21～22
- ◇第2回テニス大会… 22
- ◇平成21年講演会&忘年会… 22～23
- ◇表紙のことば (藤澤義弘) … 23
- ◇**シリーズ** 私の宝物 (高橋芳信) … 24
- ◇今後の主な年間スケジュール… 25
- ◇編集後記… 25
- ◇協賛広告… 26

平成 22 (2010) 年 年頭所感

大阪府知事 橋 下 徹



新年あけましておめで
とうございます。

昨年の政権交代。これ
は、日本のこれからの政
治・行政のあり方を大き
く変革する、その第一歩
ともいべき大きな出来

事でした。今年は、いよいよその動きが本格
化します。私たちの大阪・関西にとりまして
も、10年先、20年先、どのような発展の道
をたどっているのか、まさに、その礎を築く、
そのための行動を起こす、大きな節目の年
になるのではないかと考えています。

私は、その際の最も重要なキーワードが
「地域主権」、「地域の自立的経営」だと考
えます。アジア各国は猛烈な勢いで成長を続
けています。そして、それを牽引しているの
は、上海やソウルなどの都市や地域です。そ
の背景には、競争力をつけるために、経済政
策や人材確保などの面で、国が規制緩和や税
優遇措置などの権限を都市や地域に存分に与
え、同時に、国際拠点空港や港湾などに「選
択と集中」で思い切った投資を行う、まさ
に、首尾一貫した国家戦略の存在があります。

翻って日本はどうでしょうか。これまでの
国と地方の関係は、細かな仕事まで微に入り
細に入り国が口を出す。地方の仕事の財源を
保障する。借金の返済まで面倒を見る。国
が、大きな戦略を立てないで、こうしたこと
に汲々としているうちに、あっという間にア
ジアの国々に肩を並べられてしまいました。

しかし、まだ間に合います。地方は覚悟を
決め、一刻も早く、国による分配、国への依
存の構図から抜け出し、地域自身のガバナ
ンス、マネジメントによる自立的経営に乗り出
さなければなりません。単に国から財源をも
らうのではなく、地域にある強み、地域にあ
るストックを最大限活用して「稼ぐ」という

発想です。

例えば、国家戦略として、業種や分野を定
め、そこに限って優遇税制や入国管理などの
法制度の特例を認めていただければ、大阪・
関西は、その強みである新エネルギーやバイ
オなどの分野で、内外から企業や人材をひき
つける政策を展開できます。

また、関西国際空港についても、伊丹空港
廃止というこれまでタブー視されてきた問題
を直視し、「今あるストック」として、伊丹
空港跡地を国から地域に譲り渡していただ
ければ、それを有効に活用し、国からのキャ
ッシュに頼ることなく、関西リニアの整備や新
たなまちづくりを進めることができます。大
阪・関西が創意工夫を凝らし、同時に責任を
持って、関西国際空港の発展戦略を描くこと
ができると確信しています。

大阪・関西が、東京・首都圏とともに、わ
が国の発展を牽引するツインエンジンとして
の役割を果たす。「地域の自立的経営」のた
めに何をしなければならぬかをしっかりと
考え、行動してまいります。

大阪府政は、大変厳しい財政状況が続いま
す。現在、平成22年度当初予算の編成作業中
ですが、こうした中にあっても、限られた財
源を有効に活用して思い切った「選択と集
中」を行い、私自身の思いを込めた事業を何
とか「知事重点事業」として打ち出したいと
考えています。「教育日本一」「子育て支援
日本一」をめざす取り組みとして、府立高校
の無償化や私立高校に通う生徒へのセーフ
ティネット対策、さらには、障がいのある児
童・生徒のための支援学校の整備や学童保育
の充実などに特に力を注ぎたいと考えていま
す。同時に、「大阪マラソン」や「水都大阪
(ライトアップと水辺のにぎわい創出)」な
ど、府民の皆様が参画し、大阪の魅力を実感
し元気になっていただく取り組みも進めたい
と考えています。

一方、昨年12月1日、財政再建のための新しいプロジェクトチームを立ち上げました。知事就任直後に取り組んだ財政再建プログラムは、来年度でその期限が終わります。減債基金からの借り入れや借換え債の増発といった将来に負担を先送りする財政手法とは決別し、収入の範囲内で予算を組む、将来的にも財政健全化団体にならない、このことを目標に策定しました。いわば「出血を止める」ことが狙いでした。今回のテーマは、「カットから構造改革へ」です。恒常的に財源不足が続くのはなぜか。大阪府だけ突出したおカネの使い方をしているのか。それとも、国の制度自体に問題があるのか。公務員制度自体に問題はないのか。今年度一杯はこうした観点

から、歳入や歳出の構造を徹底分析し、来年度、その改善点や国制度への問題提起などをまとめます。

私の今任期の総仕上げとして、今の行政システムの構造的問題をあぶり出し改善する、このことに真正面から取り組みたいと考えています。そして、国に主張すべきは主張する。その前提として自らの襟はきちんと正したいと考えています。

府民の皆様から私に与えられた使命は「変革と挑戦」です。このことを肝に銘じ、今年も元気一杯、がんばってまいります。皆様の一層のご理解とご協力をお願いしますとともに、本年が皆様にとって実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りします。

年頭所感

将来を見据え、夢を語り続けよう

理事長 池田 哲雄



新年明けましておめでとうございます。

皆様ご健勝にて新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は世界経済大混乱の中で一年が超スピードで過ぎてゆきました。あまりの変化の大きさと、スピードの速さに対策が追いつかなかった感じです。

こんな時勢の中で、大阪鋳螺卸商協同組合は、今年60周年を迎える事となりました。戦後間もない頃、いまだ経済も十分に立ち直らない時に、同業者が集い、業界の将来のためにと、当組合を設立された先輩方に、敬意を表すと共に、平素より当組合運営にご協力を賜っております組合員の皆様に、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

ところで、今度の経済ショックで、世の中の流れは大きく変化しそうです。当業界も例外ではないのでしょうか。少くとも中国・イン

ドを含むアジア圏が、世界経済の中心になるべく、成長を早めるのでしょうかから、生産地も消費地も品質もコストもレートも又、視野や考え方まであらゆるものの見方・流れが変わる可能性を心しておく必要があるのかも知れません。でもその変化の中に、次の飛躍のチャンスがかくれているのでしょうか。先見性を発揮して、上手く捕えたいものです。

さて、一部業界では、回復の兆しが現われて来たとの話も聞ける様になってまいりましたが、完全回復には今しばらくかかりそうです。ややもすれば、業績の回復を、景気回復に期待を寄せてしまいそうですが、今こそ、将来を大きな目で見直して、社員に夢を語り続けるのが社長の仕事であり、義務であるのかも知れないと思っています。

なにはともあれ「明るく、朗らかに」を今年のモットーに、皆様共々、今を乗り越えてゆきたいと願っております。

本年もどうぞよろしく願いたします。

「新春合同互礼会 in 2010」挙行

関西ねじ協同組合と大阪鉄螺卸商協同組合

商工総勢334名が盛大に門出祝う

関西ねじ協同組合（箕村理・理事長）と大阪鉄螺卸商協同組合（池田哲雄・理事長）が2年に1度開催する新春合同互礼会が1月8日、大阪市中央区“シティプラザ大阪”において挙行されました。近畿経済産業局や大阪府など行政や関係諸団体から来賓多数が出席し、関西ねじ協同組合から135社221名、大阪鉄螺卸商協同組合から73社89名が出席、総勢334名が参加して盛大に新年の門出を祝いました。



「新春合同互礼会in2010」は、関西ねじ協同組合副理事長の北井啓之氏（ケーエム精工(株)）の司会進行で始まり、最初に池田・箕村の両理事長が登壇。

池田理事長は、「今年は誠に素晴らしい天気のもと合同の新春互礼会を開催できますこと、そして多くのご来賓ならびに会員様にご出席賜りましたことに厚く御礼申し上げます。善き事を思い、善き事をすれば、善き結果が出ると申します。ここに多くの善男・善女が集っておられます。この互礼会を契機に、夢を抱いて明るく朗らかに前向きな良い話題で押し切りましょう。今年もよろしくお願ひ申し上げます」と挨拶。



挨拶する箕村理事長

また箕村理事長は、「新春合同互礼会は今回で3回目ですが、新しい時代をどのように作っていくか、情報交換の場として役立てていただきたく思います。昨年は商工一体のねじ産業未来開発プロジェクトを始めとした、ねじ業界地位向上を目指す機運が盛り上がりました。資格制度の構築にも取り組んでおり、今年もねじ産業の発展のために汗をかきたいと思っています。皆様方にとって良い年でありますよう祈念致します」と挨拶しました。

続いて来賓が紹介され、代表して中川俊裕氏（近畿経済産業局製造産業課）、山田治氏（大阪府商工労働部商工振興室）、竹中弘忠

氏（日本ねじ工業協会会長）がそれぞれ新年の祝辞を述べました。

次に、大鉄協の新年恒例行事の歳男・歳女（寅年）への記念品贈呈がおこなわれ、14名の受賞者を代表し平田彰三郎氏（平田ネジ(株)）が感謝の言葉を述べました。

このあと開宴（乾杯）を大鉄協副理事長の勝亦良彰氏が虎柄ハッピーを着ながらおこない、懇親会がスタート。

宴半ばでは慶事の祝いがおこなわれ、昨年11月に旭日双光章を受章した中島田正徳氏（(株)中島田鉄工所）への記念品贈呈と中島田氏からの謝辞が述べられました。また若手経営者で組織するOS会・K2の各幹事が紹介され、メンバー紹介ならびに活動内容などの紹介がおこなわれました。

334名の参加者が賀詞交換に集い、商工双方が懇談と交流を深める中、関西ねじ協同組合副理事長の中江良一氏（紀州ファスナー工業(株)）による万歳三唱を中締めとして盛況裡に散会しました。



新春合同互礼会の会場

組 合 だ よ り

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

株式会社村井製作所

代表取締役社長 村井義和 氏

(平成22年1月26日)

◇訃報

○東部支部所属

・田原株式会社

取締役会長 田原裕田嘉様

(平成21年12月16日ご逝去)

・株式会社ホンダ鉄螺製作所

取締役会長 本田兼一様の御子息

本田昌広様

(平成22年1月3日ご逝去)

○九条支部所属

・株式会社筑紫

代表取締役会長 相川登様の御姉様

相川綾子様

(平成22年1月16日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

委 員 会 だ よ り

忘年会、新春互礼会ご参加に深謝

総務委員長 小林 三洋

12月4日グランヴィア大阪で開催の忘年会に80人、1月8日シティプラザ大阪で開催の新春互礼会に73社89人のご参加をいただきました。

厳しい経済環境にもかかわらず、大勢のご参加をいただき、総務委員会を代表して御礼申し上げます。

忘年会は副委員長の桂様(山一精工㈱)がホテルとの交渉、ビンゴゲームの景品、司会進行まで全て一人で準備されました。

新春互礼会は関西ねじ協同組合様との合同開催で、本年の担当が関西ねじ様でしたので、殆どの準備をしていただきました。大鉄協のみの恒例行事、年男年女のお祝いは、大正15年生まれのお芝本様(㈱太平鉄螺製作所)を筆頭に14人の方にお祝いをさせていただきました。

親睦会で同業者、メーカーとの情報交換を通じて、各社の経営の一助となれば幸いです。

又、今年は組合創立60周年となります。

記念式典は時勢を鑑み、質素に行うという、理事長はじめ三役方針のもと、理事会の承認を得て、挙行するつもりであります。担当は村井様(㈱村井製作所)、山里様(阪神ネジ㈱)にお願いしております。

本年も皆様、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

手帳・カレンダーの販売御礼

業務委員長 隅田 彰三

100年に一度の年がやっと終わり、夢と希望に満ち溢れた新年を迎え……と言いたい所ですが今年もそういう雰囲気ではなく、我々中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい事が予想されます。今年は寅年「虎視眈々」と現況を見据え変化に翻弄される事なく、しっかり対応する事が肝要だと思っています。

さて平素は業務委員会が取り扱う「共同購買」「出版」「保険」の各事業に対し絶大なご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。昨年も組合財政の安定した財源のひとつ

として定着している「ねじ手帳」「ファスナーカレンダー」の販売では組合員各位のご協力で順調な販売実績を残す事が出来ました。「ねじ手帳」で8500部「ファスナーカレンダー」で5550部と景気が低迷している中、一昨年とほぼ同数の販売が出来ました事、組合員の皆様方に感謝申し上げます。今後共、組合財政に少しでも寄与出来る様に組合員皆様方のご協力宜しくお願い致します。

今年も楽しく学びましょう

経営委員長 加納 久義

新年明けましておめでとうございます。

昨年の講演会「ますます広がるねじの世界」には、師走でご多忙のところ大勢の方にご参加頂きまして厚く御礼申し上げます。講師の門田和雄氏は東京工業大学附属科学技術高等学校機械システム分野の教諭をされていご専門はロボット工学ですが、ねじの世界に関わりを持たれるようになり、ねじに関する著書も多数出版されておられます。ご講演も人柄がにじみ出て分かりやすく丁寧なお話でした。今後ねじの分野で更なるご活躍を期待します。

経営委員会のもうひとつの事業である社長塾についてですが、2月からスタートする第3期も6名の素晴らしい経営者に講師をお願いすることができました。

90分の講演後の講師を囲んでの懇親会はアルコールの効果もあってリラックスして講演の内容についての質問や感想を話し合ったり、逆に講師からの質問があったり、さらには講師に相談する人もいたりして楽しく学ぶことができます。

二番底が懸念される不安と混迷の時代を生き抜く力がつくように社長塾で学びたいと考えています。

本年も経営委員会の活動にご理解とご協力の程お願い申し上げます。



ねじの基礎知識 F E セミナー

労務委員長 高橋 秀二

組合員の皆様には、労務委員会の活動にご参加、ご協力をいただきありがとうございます。

報告事項と致しましては、昨年10月28日に「ねじ工場見学会と研修会」を金剛鉄螺(株)様に於きまして26社59名の参加を頂き実施致しました。前回と同様にサンコーインダストリー(株)様のご厚意でインカムを提供戴き、受講生の皆様から説明が聞きやすかったと好評を頂きました。

続きまして「F E セミナー (図面の読み方、描き方コース)」を11月6日～7日、15社24名の参加にてテクノセンター東大阪にて無事終了致しました。

次に「F E セミナー (Jr コース)」は従来通り大阪ガス奥池ロッジで3月12日～13日で定員40名にて事務局から案内させて頂いておりますのでよろしくお願い致します。

本年も労務委員会に変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

雨男？

福利厚生委員長 鈴木 啓次

本年の福利厚生の行事が、二つ終わりました。第一の行事は、前回の委員会だよりも書きましたが、野球大会、初戦の日より3週続けて雨、なんとか日程を調整して無事、野球大会は、終了しました。

第二の行事、11月1日に第2回大鉄協テニス大会を開催しました。14社74名の参加を頂き、朝9時の集合、ルール説明、集合写真、ウォーミングアップ。

9時50分試合開始。天気は快晴、気温もグングン↑上がり\(^o^)/試合も順調に進んで、予選も8割ほど進んだ頃、天気の様子が怪しくなり、予選終了30分程前から突然、突風、豪雨。8チームには、雨の中予選終了まで試合を続けて頂き、何とか予選を終了。

全員クラブハウスに集合して頂き、予選4ブロックの1位チームにじゃんけんをして頂

き順位を決定し、第2回テニス大会を終了。

参加者の皆様には、自然の事とはいえ、申し訳なく思います。

両大会とも雨の中参加、ご協力ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

余談ですが、理事の皆様お願いします。雨男の私？早く福利厚生委員長を下してください。<m(---)>(笑)

60周年記念誌発行にご協力を

広報委員長 大喜多 正己

平素はたくさんの皆様に広報誌「大鉾協」に快くご協力頂き、誠にありがとうございます。

組合創立60周年が、いよいよ目前に迫って

参りました。広報委員会も、平常でしたらこの広報誌「大鉾協」の編集に集中させていただいておれば良いのですが、今期・来期はそうも参りません。60周年記念誌の発行に向けて、すでに準備を開始しております。とはいえ、私たち委員会メンバーだけでは力不足は明らかです。組合内外にご助力を仰ぎながら進めて参りたいと考えておりますので、どうか読者の皆様方におかれましても、宜しくお願い申し上げます。

さて、「大鉾協」の紙面におきましては、前号より「主な年間スケジュール」を掲載しております。もちろん、予定は時として変更されることもございますので、正式な日時等は改めて事務局から送られる通知をお待ち頂くこととなりますが、組合全体の動きを感じて頂けるものと存じますので、ご覧いただければ幸いです。

支 部 だ よ り

支部の行事

西部支部長 原田 棟弘

新年あけまして、おめでとうございます。平素は、西部支部活動にご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年の国内ニューストップ10の内5位までを、記入してみますと

- ①衆院選で民主党が圧勝。新鳩山政権が誕生
- ②新型インフルエンザが大流行
- ③裁判員制度がスタート
- ④円高が進行、企業に荒波。政府は「デフレ」宣言を出す

⑤行政刷新会議の「事業仕分」に国民が注目 喜ばしい事、憂鬱なことがあった1年でした。

昨年の清水寺の漢字一文字は『新』が、選ばれました。上記の①、②等で新になったようです。今年は『優』でも、選ばれて全てに優に成ることを願望します。

さて、今年の支部新年会を鉾螺組合の新年互礼会の後の7時から、「割烹 石和川」で全社出席で開催致しました。なお、今まで新年会には、コンパニオンを呼んだ事が無かつ

たのですが、今回、超若い4人を呼んでみました。和風の超おいしい料理と超美人に堪能して、楽しい一時を過ごしました。その席で恒例の支部旅行は6月12日～13日に決定しました。現在行き先は、決定していませんが、候補は挙がっています。4月には、ゴルフを予定しています。

ゴルフ・旅行にと楽しみにしています。

今年こそ全員参加を

中央支部長 藤田 政秀

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはお健やかに初春をお迎えの事と存じます。日頃は支部活動の御理解、御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は政治面では政権交代という大きなインパクトがありましたが、実情は目下のところ変わり映えはせず、経済面、その他あらゆる面で停滞感の強い一年でした。今年は少し位は良い方向に変化して欲しいと思っています。

さて、昨年の支部活動ですが2月14～15日に山陰・城崎温泉に一泊旅行を行い、5月に総会そして9月26日に京都『近又』で京懐石を楽しみました。多数の御参加有難うございました。今年は2年に1度の海外旅行の年ですが、今回はNBファスナーの西出様にお世話をさせていただき事となりました。候補は数箇所に絞りましたので2月の新年会で決めたいと思っております。他に食事会、ゴルフコンペ等を開催する予定ですので念願の《全員参加》宜しく御願い申し上げます。

今年の支部予定

本田支部長 谷川 清石

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様方にはいつも支部運営にご協力をいただきましてありがとうございます。

本田支部では、3月6日、7日と1泊2日の伊勢方面の旅行を予定しております。

また、3月26日には京セラドーム大阪にて阪神対横浜戦・開幕試合観戦も予定しております。

本田支部は、全員参加を基本としています。伊勢旅行も時間に余裕をもって全員が楽しい旅行をと考えています。

京セラドーム大阪のセリーグ開幕戦ですが、金曜日ですので全員に先にチケットを渡しておきます。余裕のある方は、4時頃から練習風景を見てもらい、また、平日ですので仕事を終えてからでも誰にも気遣いなく入場して頂いても大丈夫です。簡単な飲み物とお弁当ぐらいは考えております。

本田支部は全員で17名ですが何時までも活気ある支部を目指しております。

春の熱海旅行

九条支部長 久保 哲也

新年明けましておめでとうございます。平素は支部活動にご協力をいただき誠に有難うございます。

昨年は、総選挙における初の政権交代があったものの、なかなか景気浮揚にはつながらず、新型インフルエンザの流行、雇用不安、

円高、デフレの進行、ドバイショックなどと明るい話題が少なかったように思われますが、今年こそは何とか明るい年になって欲しいと願うばかりです。

さて、九条支部におきましては本田支部と合同で、昨年の9月13日に能勢カントリーにて恒例の九伸会を行いました。

当日は増谷様のお世話で、好天にも恵まれ和気あいあいとした雰囲気なかでプレーができたように思われます。また、本田支部、九条支部ともに例年以上の初参加の方々に参加いただいたことに大変心強く感じました。

今年度は1月に相川様、鈴木様のお世話で昨年発行されたミシュランガイド京都、大阪2010版の一つ星獲得レストラン、中国料理「香桃」にて新年会、さらに、3月6日から7日にかけて熱海に支部旅行を行う予定です。支部の皆様の多数の御参加をよろしく御願いいたします。

明るいかもしれないと考える

東部支部長 井上 勝裕

年末年始と東部支部内で悲報が続きました。改めまして関係各位の支部員のみなさまに哀悼の意を表します。

さて、本原稿を打鍵しておるのは、昨日の一月半ばで年始気分がやっと抜ける気がいたします。かくいう本日、支部新年会が上六『天繁』にてあと数時間後に始まります。

景気の方は二番底だ、なんだかんだと仄聞いたしますがこのような予想は当たるかどうかの世界でありますので精神衛生上よろしくないもので気にしないことにしております。

このような背景で今年度の支部の各行事をどのようにプログラムし運営していこうか頗る悩むところですが、小さなことでも少しでも支部員のみなさまに貢献できるようにと思案しております。

昨今日本国内はペシミスティックな空気が蔓延しておりますので、つむじ曲がりには日本の将来明るいものではないかと物は考えようじゃあないかと無理無理に樂觀視することにしております。どうか今年はそれなりでもいいから、いい年でありますようにと願っております。

～平成22年 新春企画～ 寅年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年におなりですか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？
4. 本年の景気予測は？
5. 貴方のお好きなスポーツ選手・芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は。お子様は何人？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. 何かスポーツをなさっておられますか？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？その簡単なご高評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになった訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても貴方の推薦のお店と、その店の自慢料理をご紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 特に気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2010年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

平田ネジ(株)

平 田 彰三郎
(昭和13年生まれ)

1. 53年
2. 学校の推薦
3. 先行き大変であるが改革次第でまだまだ発展する。
4. 前半は史上最低だが後半政治次第で少しはよくなる。
5. 石川 遼。今の同年齢の人に無いものを持っている。
6. 夫婦と娘
7. 三断二性（正しい判断・決断・断行・品性・知性）
8. ゴルフと旅行
9. ゴルフ・毎日1時間の散歩・週3回以上ジムにてストレッチ
10. サンデープロジェクト、他ニュース番組
11. 去年は少なく台湾のみ
12. よし光（冬はふぐ・夏はハモの石焼）
13. 近くの神社に初詣
14. 早寝早起き朝ごはんを毎日15分のストレッチと1時間の散歩
15. 結びつき、組合せることによって、生命が発展してゆく、それが【寅】いんであり、生命の発展である寅は演とおなじで伸びる・発展と言う意味にもなる、この

ことからすればネジ産業が伸びる年と言う事になるので、干支にあやかり信念と情熱をもって頑張りたい。

マスター工業(株)

稲 上 武 弘
(昭和13年生まれ)

1. 50年
2. 初めて仕事でお世話になった会社が、ねじ商社であったから。
3. ねじは必要なものですから何事もやり方だと思います。
4. デフレの時代、良くはならない。
5. 相撲は大鵬、ゴルフは杉原輝雄。努力家、熱意のある人。
6. 妻と二人
7. ねじ一筋 努力
8. ゴルフ
9. ゴルフ
10. NHK大河ドラマ 歴史に学ぶ
11. 近場の温泉
12. 日本料理 近場の居酒屋
13. 信貴山への初詣 飲んでは孫と遊ぶ
14. 風呂にゆっくり浸かり一杯飲んで何でも食べて大きな声で笑うこと。
15. おかげ様で6回目の年男、感謝感謝です。皆様のお役に立つ会社になり社員の家族

と協力者共々幸せになれるように元気で
仕事に励むこと。今年も皆様のより一層
のご協力をお願いします。

(株)前野商会

前 野 幸 司
(昭和25年生まれ)

1. 38年
2. 親の家業であったから
3. ますます、厳しくなりそう
4. この不況の二番底、三番底がありそう
5. 特に無し
6. 母、妻、三女
7. 「我、事に於いて後悔せず」(宮本武蔵)
8. ゴルフ、落語、散歩
9. ゴルフ
10. スポーツ中継 (筋書きのないドラマであるから)
11. 山城温泉・バンコク・芦原温泉・別府・萩、津和野・八ヶ岳・広島等 7回
12. なんば (割烹料理なら何でも)
13. 家庭サービス
14. 一日一万歩の散歩
15. 何とか、この不況を乗り切る

(株)カーマン

金 田 正 伸
(昭和25年生まれ)

1. 約40年
2. 創業当時、人手不足であり学生時代からずるずると。
3. 必需品で永遠に不滅だが、付加価値のある商品開発が必要
4. 当面、景気底這いか
5. 「上戸 彩」可愛い、この様な娘がほしかった。
6. 愛妻「啓子」と愛猫「マーブル」と私
7. 座右の銘? 「誠心誠意」 「日々感謝」
8. ドライブ・小旅行
9. 特にナシ
10. ニュース
11. 京都、淡路島など近場で10回程
12. 割烹「むつごろう」
13. 市内ホテルにお袋を連れて一泊、伏見稲荷大社

14. 週2回の休肝日と散歩
15. 健康に気をつけ、皆と一緒に明るく過ごせば良いです。仕事は身の丈の中でベストを尽くす。

ニットー金属工業(株)

藤 田 政 秀
(昭和25年生まれ)

1. 37年
2. 家業の為
3. 前途多難でしょうが何とかなるでしょう
4. おそらく底這い状態
5. 特になし
6. 母、妻、娘二人
7. 一期一会
8. ゴルフを少々
9. 特になし
10. 「家族に乾杯」
11. 国内旅行5回。特に大学時代の後輩達と37年振りに再会した伊豆が印象に残っています。
12. 私はグルメではありません。
13. 神社、仏閣。かなり行きました。
14. 腹八分目
15. ともかく心身共に健康でありたい。

(株)丸エム製作所

松 元 收
(昭和25年生まれ)

1. 1971年3月に丸エム製作所入社、39年目
2. 1970年に丸エム製作所に会社訪問時の製造現場の活気と、中小企業への就職希望が合致
3. 物と物を締結し、又緩める事のできる機能は“ねじ”にしかない
組み立て産業には絶対に欠かすことのできない部品で全世界で必要不可欠な物
具体的なニーズは変わっても、“ねじ”そのものの種類も、果たさなければならぬ役割(使命)も増え続ける <将来は明るい>
4. 政治の混迷も足を引っ張り、景気の春が訪れるのは2010年“秋頃”でしょうか
5. 巨人軍「原監督」・・・夢を追い続ける姿勢

- 加山雄三・・・永遠の若大将
6. 妻と二女に恵まれました
 7. 「人生ニコニコ顔で、命がけ」
 8. ①ゴルフ (H-13) ②京都・奈良史跡めぐり ③落語
 9. ①週一のゴルフ ② (不定期) ウォーキング
 10. ①ガイアの夜明け……経済情報の先取り
②NHK大河ドラマ……歴史に思いを馳せて
③そこまで言って委員会……政治経済の面白ネタ満載
④笑点……日曜夕方30分のくつろぎ
 11. 出雲大社&石見銀山へ1回 鳴門&金比羅山へ1回 有馬温泉へ数回
 12. “京とあん” 心齋橋店 (旬菜町家の味: 和懐石)
 13. 本年は近場でゆっくりと過ごさせていただきました。出かけたのは、31日のカウントダウンイベントと&落語会
初詣は「阿遅速雄神社 (地元: 放出)」と「春日大社 (奈良)」へ
 14. 朝一杯の健康ジュースと毎日の入浴&睡眠確保を心がけ、プラス思考と感謝の心で。
 15. 2010年、組織力・商品力・現場力・・・すべて作り直し！
2010年、新たな成長戦略を確立・実行に移し、勝ち (価値) 残る！

池田金属工業(株)

池 田 哲 雄

(昭和25年生まれ)

1. 34年
2. 子供の頃から後を継ぐと決めていました。
3. ニッチ商材で種類も多いので、明るい。
4. 70%の経済世界だと思います。
5. 王貞治さん。誠実で努力家のイメージ
6. 母と妻と子供3人
7. 誠意・努力・忍耐
8. 旅行とグルメと音楽
9. ゴルフ
10. 特にありません
11. イタリア (ローマ・フィレンツェ) 1回。
12. 桜絵

13. 初詣と家族サービス
14. 歩くこと・よく寝ること
15. ぶれない人になる

(株)三笠・鉄螺

高 橋 秀 二

(昭和25年生まれ)

1. 37年
2. 自然と入るものだと思って入った。
3. 産業の必需品なのでなくなることは無いが産業の衰退により減少し、新しい産業が生まれることにより需要は出る。
4. 2番底が心配される、景気回復は望み薄い。
6. 妻、子供2人の4人家族
7. 一期一会
8. スポーツ観戦
9. ゴルフ
10. ニュース、時事放談ぐらいで他はあまり見ません。
11. 上高地 1回
12. いつ香 (日本料理)
13. 初詣あとは、のんびりと骨休め。
14. 妻任せの食事管理。
15. 健康面を考えながら、足元を固め確実に一歩一歩前進する。

(有) 銚 平

銚 一 平

(昭和25年生まれ)

1. 32年
2. 家業であり、長男だったため
3. ほぼ現状維持
4. 景気回復の足取りは鈍く、まだまだ厳しいと思う
5. イチロー
6. 妻と犬2匹
7. 人事を尽くして天命を待つ
8. 犬と旅行
9. 週2回のスポーツジム通い
10. ニュース番組
11. 蓼科、河口湖、くろよんダム、愛知県の湯谷温泉
12. 一軒あるけど、秘密。もう一軒は堺市にある「醬の」 (寿司屋)

13. 初詣と墓参り。それと娘夫婦や親戚が集まり宴会。
14. 体をよく動かすことストレッチ。
それに腹八分目。
15. 何事も無理せずマイペースで。但し、気持ちちは、常に前向きで。

(株)宝螺子製作所

谷 口 由 行

(昭和37年生まれ)

1. 23年
2. ものづくりに魅せられて

3. 厳しい。が、まだまだ捨てたものでもない。
4. 不明。まんが良ければ生き残れる。
6. 妻、長女、長男
8. 子供の成長記録を残すこと
10. C S I 科学捜査班
11. 子どもとキャンプで野沢へ行った程度。
12. 布施駅前の「自由亭」でしょうか (Aランチ、Bランチ、オムライス)
13. 近所の氏神さんへ初詣。寝正月でした。
14. 特になし (あまり考えすぎない)
15. とにかく皆健康で今年も仕事ができれば何よりです。

特別寄稿

還暦を迎えて

(株)前野商会

前 野 幸 司

十干十二支が一回りして、文字通り還暦です。大阪では本家帰りとも言いますが、まさかこんなに早く自分が還暦を迎えるとは夢にも思いませんでした。一昔前なら、六十歳は確かに老人でした。自分が子供の頃を思い出しても、六十歳の人たちは間違いなくオジサン、オバアサンでした。

でも、今は違います、今の還暦は若いです。私事で恐縮ですが、昨年10月17日18日に24時間100kmウォーク大会に出場して23時間41分で完走、いや、完歩したことがその証拠です。

昨年のこの大会は約800人が出場し、うち約20%しか完走出来ない、過酷なレースです。しかし、大会の趣旨は順位を争うのではなく、あくまで自分との戦いで、如何に時間内に帰って来るか、それが大事なポイントです。

10月17日(土)の朝10時に大阪城を出発して、不眠不休で、翌日の朝10時までに、奈良の橿原神宮を往復して帰るのがそのコースです。中でも途中の竹之内峠の山越えが難所です。当初、1時間で5kmを歩く計算でスタートして途中、2回の雨と竹之内峠越えで苦労しましたが、何とか折り返し地点の橿原神宮に着いたのは午後9時頃でした(約12時間所要)。大阪城からの歩数は72,285歩で、ここ

で主催者側からの差し入れ、熱々の美味しい豚汁を食べて30分休憩。ここでは迫り来る睡魔と疲労と闘いながら、ここでリタイアして電車で帰るか、又は、歩いて大阪城まで帰るか、大いに悩みましたが、今回は意を決して大阪へ向け歩き出しました。

これにはかなりの勇気と決断が要りました。と言うのは、前回の大会(京都嵐山を往復)では50kmでリタイアして嵐山から電車で帰ったという苦い思い出があったからです。それも、帰りの満員の阪急電車内で立ってられないという、苦痛があったからです。帰り道はもう、疲労困憊でとてもそのペースでは歩けませんでした。又、竹之内峠越えでは真っ暗闇の中、カンテラの光だけで歩くという、貴重な体験をしながら、何とか時間内にゴール出来ました。大阪城到着は18日午前9時41分、総歩数は実に145,420歩でした。

今回、何とか完歩出来た理由を考えますと、大会スタッフの方々の励ましや、見も知らない同行の人たちに勇気もらったこと、中でも帰りに一緒に歩いた76歳の10回連続参加のオジイちゃん、とても自分ひとりでは歩けなかったと思います。まず、彼らに感謝、感謝です。そして、現実にはとにかく1歩、1歩を積み重ねていくしか無い訳で、その1歩は

ほんとに小さな1歩、自分の歩幅は約70cmですが、その1歩、その70cmの積み重ねが繋がっていくということです。

まとめますと、如何に自分は回りの人たちに支えられているかということを再認識したこと。そして、自分の小さな1歩、1歩が100kmに繋がる、その小さな1歩の歩みが如

何に大事なものかということと、その1歩を踏み出すことの勇気とその重さを感じました。

今年も又、この大会に参加したいと思えます。そして、何時か、「あの100キロウォーカーの前野」と言われる、その日が来るまで頑張るつもりです。

O S 会 の 頁

不 惑

大弘鉦螺株

森 口 聡

成人式を迎えた時、これでようやく大人の仲間入りだと一人前になった気がして嬉しかったものだ。

あれから早や二十年。とうとう今年四十歳になるが、不惑どころか四十歳という年齢にさえ戸惑っている自分がある。しかし摂取カロリーは変わらなくても年と共に新陳代謝が衰えメタボになっていく自分もいる。まさに体型は年齢に正直である。

アラウンド・フォーティーつまり四十歳前後の事を世間では、アラフォーというそうだが。

他企業他業種に勤めているサラリーマンのアラフォー友人達は、中間管理職の最中「上からも下からも言われて大変だ。」とぼやきながらも、もまれながら一生懸命頑張っている働きざかりの四十代である。がむしゃらに頑張る二十代や三十代とは違って真の大人となって知恵も働かせねばとプレッシャーばかり感じてしまう。

世の中は不景気で何かと暗い話題が多いがあのボルトが陸上で世界記録を出したように我々ボルト屋もこの不景気を吹っ飛ばす勢いで走って行けたらなあ～とちょっぴり神頼みもしたりしている。

本年度OS会の代表幹事を務めさせていただく事になったが、人見知りな緊張しい私に務まるのか、正直自信はない。

ただ、OS会で良き先輩に恵まれて、今まで沢山勉強させていただいた。

今度は恩返しする番だ！

どんどん新しい事にチャレンジしていきたいし、より良くしていく為に、アイデアがあればどしどし言ってほしい。

情報が沢山あふれて、常に進化していつける時代、不惑よりおおいにあれこれと惑ったほうが良いのではないかと思っている四十歳である。

大阪ダービーへのいざない

株三晃商店

武 田 透

みなさん、セレッソ大阪って知っていますか？そうそう『アジアチャンピオンの強い青黒いチームでしょ』って、ちゃうちやう、今年やっとJ1に昇格できるあのピンクのチームです。大阪には2つのサッカークラブがあり1つは青黒のガンバ大阪、他方がピンクのセレッソ大阪です。セレッソは元ヤンマーで名門のはずですが・・・好成績を残した翌年は不調に陥る隔年病を患っており、2005年優勝争いを演じ、首位で迎えた最終試合のロスタイムの失点によって優勝をあろうことかライバルのガンバ大阪にかっさらわれ5位。しかもこの好成績をうけたファン期待の翌2006年不振を極めあえなくJ2降格。以降3年間J2をさまよい、やっと2009年、長いトンネルを抜ける事ができました。悲願のJ1昇格達成です。

基本的に大阪のセレッソファンとはメジャーなガンバ大阪の陰に隠れる存在で、みんなに『あっあのJ2のチームね』と後ろ指をさされる様な存在でした。まさにオリックスファンの様な心境です。しかし、直接ガンバに

勝つ事でセレッソの存在感をアピールできません。『なんやセレッソの方が強いやん』と云わせるため、きたる大阪ダービーに向け着々と気持ちを昂ぶらせております。

さて、みなさん『ダービー』ってご存知ですか？正しくはダービーマッチでダービーマッチとは基本的に地理的な要因によって発生します。さらに社会階級や所得格差、宗派・民族・政治的対立などがスパイスとなりダービーは一層ヒートアップしていきます。有名なのは伝統のイタリアミラノダービー『労働者階級がファンのACミランVS富裕層がファンのインテルミラノ』で、これは1年に2度(ホーム&アウェイ)あるミラノのお祭りのようなものであり、毎年試合直前になると地元新聞は対立を煽り、町は両チームカラーの赤と青の2つに分かれます。まるで野球の阪神・巨人戦の様ですが年に2度しか行われないう点で人々の気持ちは凝縮され熱狂度が違います。イタリア全土・いや世界中の注目を集める伝統の一戦です。

今年は大阪でもダービーが行われます。基本的にベッドタウンがホームの富裕層がメインファンのガンバ大阪(高槻){ユニフォームも前述のインテルミラノに似ている}、スポンサーもRoHS指令とかに厳しい世界的企業パナソニック(インテリ眼鏡の雰囲気)でお金

持ちチームと、コテコテの大阪住吉をホームとするセレッソ大阪(庶民派)スポンサーは皆さんも身近なヤンマー(農家のカールおじさんのような雰囲気)。この大阪の2チーム、皆さんはどちらのチームがお好みですか？ここまで読み進めてきたらだんだんとダービーを観てみたくなってきた事でしょう。また、サッカーの1点の重みは野球のそれを遙かに上回りひとたびゴールが決まると体全体からエモーションが溢れ出てきます。ゴールの瞬間に観客1万人の溢れるエモーションがスタジアム全体に響き渡る歓喜の瞬間を是非体感下さい。みなさんもサッカーの虜になる事でしょう。大阪ダービーがサッカーへのいざないになれば幸いです。

さて2010年は、関西にある全4チームのJリーグクラブがJ1という日本のサッカーのトップリーグに所属する事になりました。いまだ不景気の関西において関西サッカー界は元気です。さらに今年はワールドカップの年、6月に全世界がサッカーに熱狂します。中田英寿という巨星を失った日本がドイツに置いてきた魂を南アフリカで取り戻せるか大注目です。オランダ・デンマーク・カメルーン、相手に不足はありません。ベスト4を目指しガンバレ岡田JAPAN。さあみなさんも話題のサッカーを観にスタジアムへGO!!!

鈴木啓次氏(アサヒアペックス)が優勝

第5回大鉄協親睦ゴルフコンペ

第5回親睦ゴルフコンペが昨年10月31日、奈良県天理市の春日台カントリークラブでおこなわれ、鈴木啓次氏(アサヒアペックス(株)社長)がNET 71.6の好成績で優勝しました。

当日は6組23名がエントリーし、午前7時15分、東コースからスタートしたコンペはダブルペリア方式でおこなわれました。

上位の主な成績は次の通り(数字は西、東、グロス、ハンディキャップ、NETの順)。

▽優勝 鈴木啓次氏(アサヒアペックス(株))

44、42、86、14.4、71.6

▽準優勝 秋元孝彦氏(株オオヤマ)

43、49、92、20.4、71.6

▽3位 水谷 護氏(株水谷製作所)

37、44、81、8.4、72.6



特別寄稿

航空機産業というもの これからの輸出産業商品にしたい

由良産商(株)

由 良 豊 一

私の事業はねじの元卸商社です。ねじ業界は過当競争の極に達していると思う。『安売り競争がどうのこうの』というモラル論よりも、需要産業が広がってもらわないと（パイを大きく）共存共栄なんて考えにくい。

少し鳴りを潜めていた空洞化問題がここに来て、円高問題、労働政策問題などで、再燃し始めている。産業空洞化が進めば組み立て産業は当然海外へ出ていくのだから、ねじを使う産業が海外に行き、また過去のように必要な産業を引き連れていくような時代ではない。海外では、ねじなどの現地調達を図りコスト削減も図る。国内の雇用も消失する。これは益々問題である。ねじを使う産業が海外に行ってしまうことを何とか避けたい。

しかし、当時は自動車産業が絶頂であった。それでも貿易摩擦を解消のため次第に現地生産に。しかし、自動車産業の海外展開など、拡大中は多様なねじ製品が海外に流れ、比較的潤いが享受できたと思っている。しかし、自動車も精密機械部品ではあるが、量産品である。生産の機械化、システム化によって後進国でも追いついてくる。コスト競争では必ず負けてしまう。したがって機械でのシステム化大量生産方式はいつかは日本から消える、と思っている。中国を見ていると、その感じがますます強まる。また石油依存をしていると、ユーザーにとって、燃料費がいつも気がかりな時代になっている。テロ問題や主な産油国の動向が気になるのである。

また、いろいろな産業で脱石油エネルギーの動きが次第に出てきた。そうです、電気自動車の時代。エネルギー革命も含め、まさにリーマンショックを期に、コスト意識、地球環境改善意識が絡まって、産業の中身の変化が加速されたように思う。とすると、自動車はハイレベルのメカニクの塊（かたまり）から、家電製品の範疇に移項する。そして日

本の自動車産業に圧倒されていた国々で、国民車意識が高まり、益々、日本のお家芸としての産業の地位が危なくなる。

技術力、そして、新しいものの作りの挑戦はハイメカを駆使しながら、セル方式で超精密機械を作り出す、航空機産業が次世代主要産業の一つに位置づくのでは、と思った。航空機を構成する部品は約200万～300万点ある。それが組み合わさって一機になる。それだけ精密なファスナーが要ることになる。これこそ日本のポスト自動車産業と思ったわけ。そして産業を育てることが需要を生み出す。要するに魚の養殖です。マーケットがほしければマーケットを自分たちで作ることなんです。それが、只今、航空機産業に注目し機体メーカー、装備品メーカー、エアラインなど、この産業の体質を見極めようとし、そこから我々がマーケットを確認し、対処し売り込んでゆく道筋と、そのチャンネルに乗せる産品を見出す需要の創造を画したいと思っている。

我々はねじ産業の人間だから、当面、ねじの研究をし、航空機メーカーの認定する、ねじおよび、ねじ部品を日本各地で作れること。そして、日本各地で航空機の機体や装備品をどんどん作れる様になり、輸出もどんどん出来るようになり、それに使うファスナーを日本で作れるような体制にしたいと思っている。

航空機の主な材料も機体においてはアルミの時代からC-FRP、チタンの時代に変化している。これも糸口をつかむチャンスでも有る。

現在、航空機産業は米国F A Aの規制・支配下にある。これも安全のためには大切なことで、絶対安全性ゆえに、規格の統一など大事な要素があるが、日本としてハンデキャップがある。日本から航空機産業が奪われていた1945年から1952年までの空白が大きい。ジェットエンジンの時代に乗り遅れたのだ。

YS-11を作っても、以来、諸般の事情で後継機を作れなかった。それが、この産業の遅れの最大の原因である。自動車産業だけはいま米国社会に入り込めた。我々はいつの時代も産業戦争を意識しなければならない。

そこで、安全、安心が絶対の航空機である。技術レベルが高く、いつ、どこでも、誰もが、数少ない部品を製作できる仕組みが必要である。日本には伝統的な「匠の技」という伝承の世界がある。しかしそれは数少ない人たちがかりうじて受け継ぐ技(わざ)である。場合によっては閉鎖的に。これは、近代産業には障害になる一面もある。これは考慮の要あり。

航空機産業の元締めは200万~300万点の部品を一箇所を組み立てなければならない。今は世界中にあらゆる部品調達の網を張ってあれだけのものを作り出している。部品点数と精度についてはタダモノではない。自動車に比較できない。そのチャンネルの管理能力が必要でもある。サプライチェーンの問題である。

それ以外にもさまざまな問題がある。それを、克服して現在の世界ネットがある。これが、日本の大型企業にとってまだまだ困難な問題でも有る。

航空機産業は機体ひとつとっても、パーソナルなものもたくさんあるが、やはり大型大量輸送機械である。それぞれのパートを分散して製作し、一箇所でアSEMBルし完成品は試験飛行も必要だから、工場に飛行場が必要。いろいろな条件から部品については分散して製作しなければならない。

その特徴に応じて得意とする国や地域の工場に委ねる。とすると、しっかりしたマニュアル化による生産を必要とする。特に中小企業においてなかなか実現できない、体制整備(トレサビリティや品質保証=JISQ9100)問題を内在する。まさに今のところ、非日本中小企業の産業かも知れない。また、コスト競争はこれも苛烈である。国際的分業も世界規模で行われる。テロとの戦いもあれば、政治的配慮もコマーシャルに反映される。まさにそのような時代である。このような各種条件を克服してこの航空機産業を何とか日本の産業として、輸出産業に育てていきたいと思っている(ちょっとデカク言い過ぎたかも知れ

ないけど想いはそんなとこです)。

太平洋戦争後の荒廃から再生し、工業(産業)立国を成就、世界の工場としての地位を確立したものの、現在はその地位を中国に奪われようとしている。いや殆ど奪われかけていると言ってよい。その現状から、日本次期輸出産業に航空機産業を持ってくるという考え方は、如何でしょうか。決して大きな産業規模ではないが、モノづくりの頂点のような産物なので、その製作思想はいろいろな産業への波及効果を産むと思う。

世界の隅々まで工業化が進み、並の工業製品は世界中どこでも出来てしまう。まして低水準の「ねじ」もそのとおりである。私たちねじ先進国(まだまだほかにも先進国はあるが)として、また一步ステップアップをして日本だからこそ出来る航空機向けのねじをつくり、また、いろいろな航空機(宇宙に向かうものも含め)が作れるようにその関連商品メーカー、裾野産業などの整備を国家的事業として進めていくことが大切だと思っている。

保護主義と自由主義が混在する国家間の経済戦争はひたひたと押し寄せ、日本のあいまいな対外政策によって日本の産業立国性を弱め、少子高齢化など日本の労働国力の低下を助長する流れを憂うべきではないかと思っている。

私たちは顧客に安心と安全を提供し、顧客満足につなげなければならないし、これからのビジネスは絶対的な顧客満足の追求で無ければならないと思っている。

このようなわけですが、私が航空機産業なるものに具体的に何らかの形で参入を決めたのは平成16年の秋でした。

小学生時代から飛行機(airplane)が好きで、竹ヒゴ飛行機のコンテストには結構マニアックなものを作って参加していた。丁度、大阪西区は焼け野原でどこでも飛ばせし、模型屋さんが主催で、大会を学校の運動場や広い原っぱでやっていたものです。それから約十数年、大学を卒業しSPS(Jenkintown)で研修生として受け入れてもらった。機械化された航空機製作を意識したのはこのときです。戦闘機というよりも爆撃機、輸送機の時代でベトナム空爆のさなかであった。そして空の

大量輸送時代をむかえ、B-747 (ジャンボ) の誕生とNASAの月面着陸につながり、まさに空の輸送の新しい時代 (1968年~69年) の到来であった。

平成16年の秋に、特に大阪の景気低迷が言われた時期 (今よりましですが)、大阪の「ものづくり再生」を期して (当時、東大阪の人工衛星話は盛り上がっていましたが) 大阪市が中小企業の工場を調査し、市内に約100社ほどの航空機産業に向かってもおかしくないレベルの機械加工工場 (町工場) があることが判明。そのリーダーとして、(株)田中の現会長・田中弘一氏を中心に我々発起人5社で設立されたのが、次世代型航空機部品供給ネットワークというネットワーク型の組織であった。

これは翌平成17年4月に略称をOWO=On the Wing of Osaka ということで、メンバーの募集を行い (ホテル日航大阪で2月にフォーラムを開催)、約30社の仲間を得ることになり、爾来、約5年、勉強という活動を、そして川下企業への口座獲得・単独参入への努力を各社で重ね、実績を生みつつある。また5社で、一貫生産統括会社、(株)オー・ワイ・コープ (略称・OYC=Owo Yura Corporation) も創った。

今後とも同志とともに情報の収集から、手がける製品の内容まで研究と道を開く努力は絶え間なく必要と思っている。力をあわせたい。現況の情報の提供はご連絡いただければさせていただきます。

随 想 投 稿 欄

趣味について

小林 鉄 螺 (株)

小 林 敬

今回の原稿を投稿するにあたって、どのように書き始めれば良いか数日間頭を悩ませている次第である。私は何かにつけ「スタート」が苦手であり、今回テーマとさせて頂く趣味についても、スタートするまで随分長い間かかってしまったのである。

本題である私の趣味は「ラグビー」である。学生時代にラグビー部に所属していた私にとって、唯一経験あるスポーツがそれであり、他の競技は全くの素人であった。社会人になり一時期までは続けていたものの、怪我による入院を機にやめてしまい、その後はスポーツから縁遠い生活を送っていた。やがて結婚し子育てがはじまり、唯一の運動が子供と遊ぶ事ぐらいであった。父親として子供と遊ぶ時間は「至福のひとつとき」であったはずが、時間の経過につれて我家に3人目の息子が生まれた頃には、「至福の一」が体力の衰えを実感する「魔のひとつとき」に変わってしまった。運動不足解消の為、適当なスポーツを模索するも、今更新しい競技を始める事へのた

めらいもあり、行き着いたのが慣れ親しんだラグビーであった。

ラグビー再開を決意したものの、十年以上運動から遠のいていた私にとって、それは容易でない事は明らかである。まずは基礎体力の向上を図る為、ジョギングを開始した。予想通り、体力の低下は凄まじかった。当初は1キロのジョギングが果てしない冒険旅行にすら思えた。一年が経過し、1回10キロのジョギングを週2回こなせるようになり、再開を試みようと思ったが、持久力と同様に瞬発力の低下が心配となり、妻が以前から通っていたテニススクールに入会した。ジョギングに加え週2回のテニスレッスンは、私の失いかけていた体力の自信を、徐々に取り戻してくれたのだが、念の為に学生時代に使っていたロードサイクルにリストアを施し、スクールへの往復に自転車を利用するようにした。

体力面での不安をある程度解消し、昨年の秋に息子達と公園で遊んでいた際に、偶然練習をしていたクラブチームに飛び入り参加させてもらい、その後晴れてチームの一員となった。以前の怪我の事もあり、激しさよりもエンジョイラグビーという雰囲気は私にとっ

ては好都合であり、学生の頃とは違った幅広い世代（20代～50代）のチームメイトとの練習は、新鮮で心から楽しいものであった。

しかし、折角ラグビーを再開した矢先に問題が生じた。年初から春までは活動がない事を知らされた。メンバーの殆どが運動不足気味であり、冬が本格シーズンであるにも拘らず、寒い時期の練習は怪我をしかねないというのである。もしや、夏は暑さを理由に活動休止になるのかも？と一抹の不安はあるものの、取り敢えず冬の間はスキーを始めることにした。いずれにせよようやく再開出来たラグビーライフを楽しみたいと思っている。

もうちょっとがんばってみます

株三木製作所

三 木 茂 晴

この不景気で暇になったせい、はたまた、おっちゃんになったせい、毎朝会社の玄関周りを掃き掃除しています。心に決めて1年間続けてみよう、早いもので半年になります。初めは本当に玄関の前だけ、それが両隣の前も気になり、また歩道も気になり、車道も気になる。きりがないので1ブロックだけ掃除をしようと決めて続けています。また、雑草も気になり抜くようにしています。

大変だったのは初めの2～3日だけでした。とりあえず、一通りきれいになると、毎日のことなのでそんなに汚れない。比較的簡単にきれいにできるものです。また、変化したことすぐに気づくのです。あれっ？昨日の雑草、1日でこんなに大きくなっているとか。こんなところにひびがはいっているとか。大阪の芸人さんの言葉のように、『毎日小さな事からコツコツと』って本当は合理的なやり方なんです、と気づかされました。私はちょっと馬鹿にしていました。反省です。苦にならず、時間かからず、金かからず、すぐに変化に気づき手が打てる。いいことづくめではないですか。なんでもためずにやらねば。それにしても、毎日ゴミが捨てられている。道路はゴミ箱か？掃除をしてから気づいたので偉そうなことは言えませんが……。

朝、掃除をしていると集団登校の小学生た

ちが通っていきます。私も小学生たちも挨拶を交わしません。気になって気になって、これではいけない。挨拶しよう。私の方から毎朝『おはよう』と声をかけるようにしました。初めは、誰やこのおっちゃんと言う顔で見られ、半分以上の子供達は挨拶を交わしてくれません。半年がたち、今ではほとんどの子供達が挨拶してくれるようになりました。でも、まだ挨拶してくれない子供がいます。小さな声でしか挨拶できない子供がいます。子供たちの方から挨拶してくれる子が少ないです。今、密かに小さな野望を抱いています。登校する子供達全員に笑顔で大きな声で『おっちゃんおはよう』を言わしてやるぞ。ほうきを持っているから、レレレのおやじかも？当たり前のように挨拶し合え、気にかけてもらえる関係になってやる。

物事が気になって、気にするから行動して、その行動を続けるから色々なことが見えてきて、掃除も挨拶もやり続けていいものだと思うようになった、今日この頃です。私も歳をとったということか？還暦まで10年少々。いい大人になるため男を磨き、自分のことしか考えない悪がはびこる世の中に正義を貫けるようになりたい。どうもヒーローになりたい夢を忘れられまへん。ほな、もうちょっとがんばってきます。ええかつこしーと言われてもやり続けてみます。

地球環境が……！人々の心が……！と言う問題も世界中の人々全員が掃除と挨拶をやり続ければ問題解決するかも……？

シーハイル

(有)藤森製作所

藤 森 勝 治

シーハイルは『スキー万歳』と言うドイツ語だ。

近代スキーはヨーロッパより伝わってきたのでスキー用語にはフランス語やドイツ語がよく用いられていた。

講習会の最後には、コーチと生徒が向かい合ってスキーを一本立てて『シー』とコーチが大きな声で言うと生徒が『ハイル』と唱和して講習会を終えるのがよく見られた。

私がスキーを始めたのは16歳の冬からで、もうそろそろ半世紀近くになる。初めてのスキー場は新潟の妙高高原の赤倉である。

元々スキーのコーチだった人が宿を作り、スキーが上手になりたい人たちが集まる宿だった。以来20年近く正月は大阪で過ごしたことがなくなった。

長く泊まると宿泊代とか、リフト代が馬鹿にならないので、2年目から此処で3食と宿代の代わりにアルバイトをすることにして、空いた時間にスキーを教えてもらった。

次はリフト代だ。リュックサックに一升瓶数本入れてリフト乗り場のおじさんに一本ずつ渡して、宜しく願います、と挨拶して回った。ようするに顔パスのためだ。これで寝る処と、リフト代の心配がなくなった。

初めての仕事は、お客さんが起きる迄に石炭ストーブに火を焚いて食堂を暖める事で、始めはなかなか上手いかず煙がもうもうとなり、まだ寝ている人が目覚めて、よく文句を言われた。週末や日曜日以外はお客さんも少なく、思い切りスキーが出来た。おかげで3年目の終わりぐらいに、スキー連盟のバッチテストで1級がもらえた。

4年目ぐらいから初心者にスキーを教えるようになった。長くいると親しくなる人が出来て、そんな方々と全国のスキー場を巡り、やがてクラブを作り今に至っている。

現在もシーズン中は年2、3度蔵王や志賀高原、もちろん妙高高原などをツアーしている。

メンバーには高齢者から色々な年代の方までいるが、今の目標は、70歳まで現役を維持しようというのが目標である。すでに3人が達成している。

私もあと6年がんばろうと思う。

大鋌協硬式庭球大会

株谷川精螺

佐藤裕英

実は私のつぶやきだったんです。

この業界に入って25年、野球大会とボウリング大会は、例年の組合行事として有るのは知っていました。福利厚生委員に入れてもら

って、いろいろお手伝いをさせてもらっているうちに「テニスは無いのん？」の嫁さんの一言。

私たちは若い頃、少しかじってた「テニス」を40歳になるか成らんか頃から、それこそ〈40の手習い〉でスクールに通い始めて、いわゆる、はまってしまっていたのです。そんな事も手伝って、ある日の福利厚生委員会でつぶやいてしまったのです。またそのつぶやきに賛同してくれた友人もいてくれて、今年2回目のテニス大会を盛大かつ感動的に開催することができたのです。

1回目は夢中で、2回目は「これで終わりか？」どちらとも、友人と顔を見合わせながら「結構いける？」まさかこんなに素晴らしいものができるなんて想像もしてなかったし、最初は先ず、〈テニス〉やってる人がいるのか？とか、むっちゃうまい奴がでてきた時の事も考えとかないと……いろいろな想像に不安と心配の日々でした。それでも参加者を募ると、想像以上の参加申し込みに一安心。それでも実業団？の試合に参加するほどのチームもあり、それなりに試合当日までは緊張でした。でも我々にはそんな緊張を取り除いてくれる強一い助っ人がいました。友人のテニスコーチをしてきていて現役の某高校の監督をしている、ちょっとぽっちゃりめですが頼りがいのあるコーチでした。ハンドの付け方や、早く終わるチーム、長引くチームの割り振り等様々の難問を瞬時に解決していく、まさに〈コーディネーター〉でした。2回目も快く引き受けてくださり、この人無くしてはこの大会は開催は無かったと思います。もちろん2回目に参加してくださった、1回目よりも多くの参加チームの方々、あなた方の〈テニス〉を愛する心に感謝し感動でした。うまい人も、まだまだ下手の人も、自分的にはうまいと信じてる人も、みんなが一つのボールを追いかける姿、一年間また練習を積んでください。

そして最後に、私のつぶやきを現実のものにしてくれた、鈴木委員長を初めとする福利厚生委員の方々、最初にあんまり乗り気じゃなかったけど、（とにかく〈野球〉がメインで、これがむっちゃしんどい）みんな快く

「テニス知らんけど何したらいいんや？」とか「なんでも言うてや手伝うから！」2回目の朝、たぶん一番乗りと思って行った会場に、すでにテントが設営され準備万端です！みたいな委員の方々の笑顔に感動でした。

そして今回初めて参加した某社長「大鉄協テニス大会って結構いいじゃないですか」のコメント。中には夫婦で参加して下さったところも「これで晩飯の時の会話が弾むわ！」これこそがスポーツ、これこそが福利厚生！

この先、この大会が野球やボウリングみたいに何十回と続く事を願いながら来年に向けて練習に行ってきた一歩。

道

株水谷製作所
水 谷 肇

人は皆、「生」と云うスタートを切り、人生と云う一本の道を懸命に駆け抜けて遂には「死」と云うゴールに到達します。嘗ては五十年と云われた人生がいまは三十年位長くなりました。その道は決して真っ直ぐでも平坦でもなく曲がりくねった山あり谷ありの実に険しい道です。

一本の縄が無数の藁を縫り合わされているように、人生の道も複雑に交錯した無数の道から縫り上げられています。そしてその芯を成すのは「人の道」と「なりわい（生業）の道」だと云えるでしょう。「人の道」は人道上の生き様であり、「なりわいの道」は職業上の生き様です。

太平洋戦争終焉の時五年生だった私達は戦前の修身教育を受けて来た為その思想は至極儒教的だと云えます。従って「仁」を根本とした儒教的生活実践が、即ち「人の道」だと頑なに信じています。慈愛一人に対する思い遣りーを基とした最高道德の「仁」と不偏の道理「義」を軸として、礼をたつとび、謙讓を旨とし、親に孝、兄弟に悌、人を育て、時に身を捨て、天に愧じない生き方を貫く事こそ「人の道」であると頑なに信じています。

人類の進化と発展の最大の原動力は人間の飽くなき欲望である事は間違いありません。儒教は序列や謙讓を重んじ欲望や利得を戒め

るが故に改革や発展ー特に経済的發展ーを妨げるものであると云う批判があります。成程この世の人が全て聖人君子で清廉潔白の真面目一辺倒だったなら今の人類の物質的な進歩発展は無かったかも知れません。人間の欲望と損得感情は非常に好戦的で、ややもすれば卑劣で過激で残酷な行動を誘発します。人類最大の悪である戦争も如何に立派な大義名分を掲げて、本質は損得利害の経済的理由でしかありません。そして人間の飽くなき欲望が破壊と創造を繰り返しながら結果として人類の進歩発展をもたらして来たのも事実です。かくして人類は物質的には大変進歩しましたが、精神的には如何でしょう。進歩どころか寧ろ退歩して来たのではないのでしょうか。

欲望には正しい欲望もあれば悪い欲望もあります。正しい欲望が人類の進化発展に貢献しているのは当然として、悪い欲望もまた寄与しているのは実に皮肉で悲しい事です。謂わば人間の欲望は両刃の剣だと云えるでしょう。

然し、それ程までして人類は贅沢で安逸な生活を求めなければならぬのでしょうか。足ルヲ知ラバ辱シメラレズ、止マルヲ知ラバ殆フカラズ（老子）と申します。欲望に歯止めが利かなくなると身を滅ぼすぞと云う戒めの言葉です。ほどほど幸せであればそれでよいではありませんか。ひたすら物質的成果を求める科学や経済学に対して、精神的向上を求める宗教や道德や哲学は、人間の欲望や利害感情の暴走を阻止する重要なブレーキの役目を果たしています。如何に物質生活に恵まれても精神生活の充実なくしては真の幸福は在り得ません。

恒産ナキモノハ恒心ナシ（孟子）と申します。我々は自らの力で自立し家族を養う為に額に汗してなりわいに励まなければなりません。けれども他人を蹴落としてまでも、自分だけの利益や幸福を求めるのは大きな間違いで許される事ではありません。君子 財ヲ愛ス。コレヲ取ルニ道アリ（夢窓国師）と申します。利己ではなく利他の心、他人を思い遣る心を失せ血眼になってただ損か得かの利害計算に狂奔する動物以下の精神性のかけらも無い惨めな生活に日々明け暮れる愚だけは冒

したくないものです。

行不由徑（論語）……ユクニコミチニヨラズ。我々は「人の道」と「なりわい（生業）の道」を二本の軸に「人生と云う長い道」をひたすら邁進します。

公明正大に大道を闊歩し、決して姑息、卑劣な方法で暗い裏道をこそそそと辿るべきではありません。君子ハ独リヲ慎ム（中庸）で

す。人の目より己に愧じない事が大切です。

人生終焉の時には些かの後悔、慙愧や怨恨もなく道義上は無論、一切の借財を残さず、万事に帳尻を合わせて、天気晴朗の気分で堂々と真っ白なテープを切ってゴールインし自己の人生を完結したいものだとつくづく思います。



26社から59名が受講

労務委員会 工場見学&研修会を開催

労務委員会（高橋秀二委員長）主催による平成21年度ねじ工場見学&研修会が昨年10月28日、金剛鋳螺(株)本社工場ならびにクリエイション・コア東大阪にて開催されました。当日は26社から59名の社員が参加、六角ボルト類の一貫生産ラインを見学後、午後は材料から各種加工・検査・梱包・出荷に至る製造の実態や、業界概要に関する講義もおこなわれ、参加者は知見を広めました。

当日の開講式では、小西弘美・労務副委員長が司会進行役を務め、最初に武田等・委員長代理が「皆さんは入社2年未満の方が大半だと思うが、ねじ業界に入られた以上、ねじが実際にどのように生産されているか、観察する良い機会である。その点、金剛鋳螺様は業界でもトップクラスのボルトメーカーであり、大変参考になると思う。本日は工場見学と午後からの講義を通じ、しっかり学んでいただきたい」と開講の言葉を述べました。

続いて池田理事長が「世の中は今、大きな変革期にある。ねじを使うユーザー、お客様からの要求も間違いなく変わる。こうした変化に我々は対応していかなければならない。日々変化する商品や業界に関する知識を身に付け、お客様と対等に話が出来るようになって初めて各社の戦力たり得る。云わば皆さんはその入り口に立っており、ねじという商品に興味を持ち勉強していただきたい」旨挨拶しました。

引き続き研修受入れ先の金剛鋳螺(株)久保清

一社長が「本日はねじがどのようにして出来るのか、少ない時間だが充分勉強していただき、各社の仕事に活かしていただければ幸いです。多分、初めてねじ工場を見る方々ばかりだと思うが、これからねじの仕事に携わる上で参考になるだろう。皆さんは会社を頼りにするのではなく、会社から頼りにされるような人材になってほしい。その意味で、本研修会が皆さんにとって有意義なものとなるよう願っている」と歓迎挨拶しました。

このあと工場見学に先立ち注意事項の説明があり、参加者は4班に分かれ、係員の案内でボルトホームラインやローリング&座金組込みライン、梱包・箱詰ライン、画像処理選別機を始めとする各種試験検査設備、物流センターでの立体自動倉庫などを熱心に見て回りました。

午後は場所をクリエイション・コア東大阪に移し、昼食を挟んだ後、金剛鋳螺(株)常務取



金剛鋳螺工場内で説明を受ける見学者

締役の辻本康則氏による「六角ボルトが出来るまで」、(有)金属産業新聞社取締役社長の徳永裕二氏による「ねじ産業へのいざない」の講義がおこなわれ、各々約1時間20分にわたり判り易く講義しました。

第1講目の辻本氏は会社概要・製品紹介に続き、製鋼・伸線・ボルト製造の各工程、冷間鍛造の長所や冷間鍛造と切削加工の比較などについて講義。第2講目ではねじの機能と

使われ方やねじの歴史、規格史と概要、製造・流通実態としての業界構造、ねじにまつわる事故、六角ボルト・ナットのJIS附属書問題などについて詳述されました。

最後に、小西労務副委員長が労いの言葉とともに閉講の辞を述べ、まとめとしてレポートの作成・提出の後、午後5時前研修会を終了しました。

テクノアソシエAチームが優勝

福利厚生委員会 第2回硬式テニス大会

福利厚生委員会（鈴木啓次委員長）は、昨年11月1日、大阪市此花区のシーサイドテニス



優勝した
テクノアソシエ Aチーム

スガーデン舞洲にて第2回大鉄協硬式テニス大会を開催、テクノアソシエAチー

ムが優勝、池田金属工業Aチームが準優勝しました。

計14チーム、参加人数は合計74名の盛況となり、AブロックからDブロックまでの4つのブロックで予選リーグを戦いました。当日は昼から残念ながら雨天となり、予選リーグ終了時点で、決勝戦は各ブロック1位チーム同士によるジャンケンで決めました。

ますます広がるねじの世界

門田和雄氏を迎え講演会開催

経営委員会&総務委員会 恒例の忘年会も盛大に

経営委員会（加納久義委員長）主催の講演会と、総務委員会（小林三洋氏）主催による平成21年忘年会が、昨年12月4日午後4時半から大阪市北区の“ホテルグランヴィア大阪”にて開催されました。当日は“暮らしを支える「ねじ」のひみつ”の著者・門田和雄氏による講演のあと、忘年会ではジャズ演奏



講演する門田氏

や豪華商品が当たるビンゴゲームなどを交え、参加者は和やかに行く年を送りました。

第1部の講演会は加納委員長による開会の辞ならびに講師紹介に続いて、「ま

すます広がるねじの世界」をテーマに、東京工業大学附属科学技術高等学校の機械システム分野教諭・門田和雄氏の講演を約1時間半にわたり聴講しました。

門田氏は冒頭、ロボット開発・研究に携わる過程で10年前から機械要素部品のひとつである“ねじ”に興味を持ち、とりわけ町工場



忘年会で挨拶する
池田理事長

の見学を機に、身の回りにある様々なねじとそれらの製造工程、歴史などを調べていくうち奥深い業界の実態や市場性に至るまで知識

を深め、ねじに関する本を書くようになったと自己紹介しました。

その後、本業である工業高校の変遷や、ねじに関する本の出版を契機に広がったねじ工場や商社、業界紙との付き合いから、業界の現状や問題点、置かれたポジションといった点にまで言及、自らの近著“暮らしを支える「ねじ」のひみつ”の内容を説明しました。

講演終了に際し勝亦副理事長は、短時間の中で▽業界の地位向上や▽規格（附属書問題）、▽遅れ破壊問題にまで触れた門田氏の慧眼に敬意を表するとともに、さらなる活躍でねじ業界の認知度を高めていただきたいと謝辞を述べました。

このあと午後6時過ぎから、80余名の組合員や関係者が参加し、年末恒例の忘年会を開催しました。小林総務委員長による開会の辞ならびに桂知伸総務副委員長の司会で進められた忘年会では、最初に、池田理事長が日頃の組合運営への協力に謝意を表するとともに「自動車や家電はエコや減税を追い風に多少景況も回復しているようだが、我々を取り巻く経営環境は非常に厳しい。まだ、しばらく

“風当たり”は激しいようだが、本日は厳しかった1年を文字通り忘れ去ってしまう明るい忘年会としていただきたい」と挨拶しました。

ついで由良豊一相談役理事による乾杯の発声で開宴。宴半ばでは、恒例となっている大喜多正己氏と友人3人によるジャズ・セッションが披露されました。今回は女性ヴォーカルも加わり、ホワイト・クリスマスやティーン・フォー・ツー、レット・イット・ビーなど、ポピュラーソングも織り交ぜた全6曲を巧みなアレンジで聴かせ、魅了しました。

後半は豪華景品が当たるビンゴゲーム抽選会もおこなわれ、和やかな歓談が繰り広げられるなか、午後8時半過ぎ、岡田眞治相談役理事の挨拶を挟み、前野幸司副理事長による“大阪締め”で今年の行事を終えました。



大喜多氏(右)のジャズセッション

表紙のことば

日本の表玄関からアジアの玄関へ

㈱コムウエル・フジサワ 藤澤義弘

我が社が羽田空港D滑走路（第4番目、2010年運用開始）建設工事に参加し、あっという間に最終納入が近づこうとしています。

参加するタイミングは突然でした。弊社のホームページを、任命会社プロジェクトリーダーが見て、問合せしてきたのがきっかけでした。まず、一度は訪れてみたい、東京大手町にある本社へ訪問、プロジェクトリーダーから今世紀最大にして最後の大型案件であり、100年対応年数をにらみ、工法から希望の締結部品が出来るか、又、その部品は考え方からもっと良い部品の提案がないかの質疑を受けました。

全体像は滑走路長2,500m、巾60mになり、埋立構造と多摩川の通水（流れ）を確保する為の栈橋構造でのハイブリット構造で栈橋構造にする為、机のような形を1ブロックとしてこれを200個程つなげて海上に置いていき

ます。1ブロックでも2,500tもあり、海上移動の専用の船をも造ってのプロジェクトです。栈橋部は海上13～17mの高さで締結部品も多種多様です。質疑に対して提案を行い、その場を終わりましたが、よくあることで以降は縁がないものと思っておりました。一週間後に再上京の依頼を受け、プロジェクトメンバー達30名程の前で紹介、その場で参加を促されたのが今でも強い印象が残っています。

実際、この案件のスケールを頭に浮かべる事は出来ずに、係わる人達に指導を受けて役目をこなす努力をしたものですが、プロジェクトに参加の現場スタッフ達は365日昼夜を問わず連携し、積み上げでのハイブリッド滑走路であり、我が社が少しでもその一部に参加できたことを誇りに思います。



シリーズ 私の宝物

ジャズにはまると…

(株)三笠・鉄螺
高橋 芳 信

小学生の頃、叔母のそばにいと、いつも聴き慣れないリズムの音楽が鳴っていた。それがジャズだった。世間では石原裕次郎、美空ひばりが流行っていたが、私はそのリズムが無性に気になった。なんともませた小学生。

高校生になり街角で、ふと耳に入ってきたのはあの頃聴こえていたリズム。もうその日からジャズ漬けとなってしまった。とにかく色々聴いてみたい。ジャズやオーディオの専門誌を読みあさった。

本物に近い音を聴くにはいい装置が必要。ジャズファンの多くは装置にもこだわる。目標の機器を手に入れる迄はがむしゃらにアルバイトをした。本業の勉強はそっちのけで貯めたお金で真っ先に手に入れたのは“アルテック A7”。ボイス・オブ・シアターの名を冠したプロ用のスピーカーシステムだ。高さは1m40cm、重さは65kgもある。これが2本、今でもオーディオルームに鎮座している。実は妻よりその付き合いは長い。こいつの音は演奏の息遣いまで感じられる。目の前に白熱のサウンドが繰り広げられる。アンプもジャズファン憧れの的“マッキントッシュ”だ。暖かい音色が好みなので、真空管にこだわる。プレーヤーはヴィンテージでは定評の“ガラード”。部屋に入ると日常では味わえない異空間が広がる。オーディオの話になると、つい熱くなってしまふ。自慢話になってしまった。申し訳ない。

ソフトの主なコレクションは1940~60年代のモダンジャズが多い。お気に入りにはアート・ペッパー、ズート・シムス。爽やかなウエスト・コースト・ジャズがいい。その殆どがレコード。CDに比べてレコードの扱いは不便だ。しかしそこから出てくる音はCDを遙かに上回っている。“初版本”と同じようにレコードにも“オリジナル盤”の世界があ

る。1950年代、その当時にプレスされた初回盤。多くは入手困難となりプレミアが付く。僅かだが私もコレクションしている。とにかく音がいいのだ。この世界にはまると大変なことになるので、程ほどに。

ジャズは今も進化している。しかし若い頃に熱中したモダンジャズから溢れ出ていたエネルギー、ハングリー精神は今のサウンドからは感じられない。部屋にこもって静かにジャズを聴くのもいいが、仕事のことを考えていると、たまに生演奏を聴きたくなる。そんなときに出かけるのは梅田の“ジャズ・オン・トップ”ここのハウス・ボーカルの清水ひろみの歌を聴くと心を癒される。囁くように優しく歌うスタイルは私のお気に入り。ジャズの魅力のひとつは譜面に無いアドリブ。生演奏だとその醍醐味を味わえる。

CD・LPを買うのは梅田の“ジャズの専門店 ミムラ”店主とは、もう30年近い付き合いになる。私の好みもわかっており、来店すればオススメ作品を用意してくれている。お気に入りのお店を持っていると助かる。

仕事と趣味、きちんとめりはりをつけて時間を過ごす。疲れた体を活性化させてくれるジャズ。その演奏を存分に楽しんで、仕事へのエネルギーを貰っている。



ジャズのレコードジャケット

今後の大鉄協の主な年間スケジュール

日 時			行 事 (予 定)	場 所	
2	17	水	18:30	第3期社長塾①	(株)アイビー研修室 ヴィアーレ大阪
	19	金	14:30	三役会	
	19	金	16:00	理事会/役員懇親会	ヴィアーレ大阪
	19	金		広報誌(78号)発行	
	28	日	10:00	第36回ボウリング大会	
3	10	水	13:30	三役会	事務局 健保会館 (株)アイビー研修室 大阪ガス奥池ロッジ
	10	水	15:00	理事会	
	10	水	18:30	第3期社長塾②	
	12~13			第23回FEセミナー(ジュニアコース)	
4	21	水	11:30	三役会	事務局 健保会館 (株)アイビー研修室
	21	水	14:00	理事会	
	21	水		第3期社長塾③	
5	19	水	18:30	第3期社長塾④	(株)アイビー研修室 ヴィアーレ大阪
	21	金	15:00	通常総会	
6	9	水	13:30	三役会	事務局 健保会館 (株)アイビー研修室
	9	水	15:00	理事会	
	16	水	18:30	第3期社長塾⑤	
7	14	水	18:30	第3期社長塾⑥	(株)アイビー研修室 村田機械(神足球场) (8月回収)
	25	日		第62回野球大会① ねじ流通商社経営実態調査	
8	1	日		第62回野球大会②	村田機械(神足球场) 日本精線(枚方球場)
	22	日		第62回野球大会③(決勝戦他)	
9	8	水	13:30	三役会	事務局 健保会館
	8	水	15:00	理事会	
	17	金		広報誌(79号)発行	
11	5~6			第17回FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪 事務局 健保会館
	10	水	13:30	三役会	
	10	水	15:00	理事会	
12	3	金	16:30	講演会	ヴィアーレ大阪 ヴィアーレ大阪
	3	金	18:30	忘年会(大鉄協 創立60周年記念)	
1	12	水	10:00	新年互礼会	ヴィアーレ大阪

* 3月以降は予定です。

編 集 後 記

広報委員として「大鉄協」発行のお手伝いをさせていただくようになり、一年近くが経ちました。まだまだ力不足ではありますが、広報委員全員力を合わせて、歴史ある「大鉄協」がより充実したものになって行くよう努力していくつもりです。

今回も様々な興味をそそる原稿をたくさん目にする事ができました。皆様のご協力のおかげで、無事発行にいたり心より感謝しております。

最後になりましたが、前号でミスプリントがありました事、心よりお詫び申し上げます。(小林淳一)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

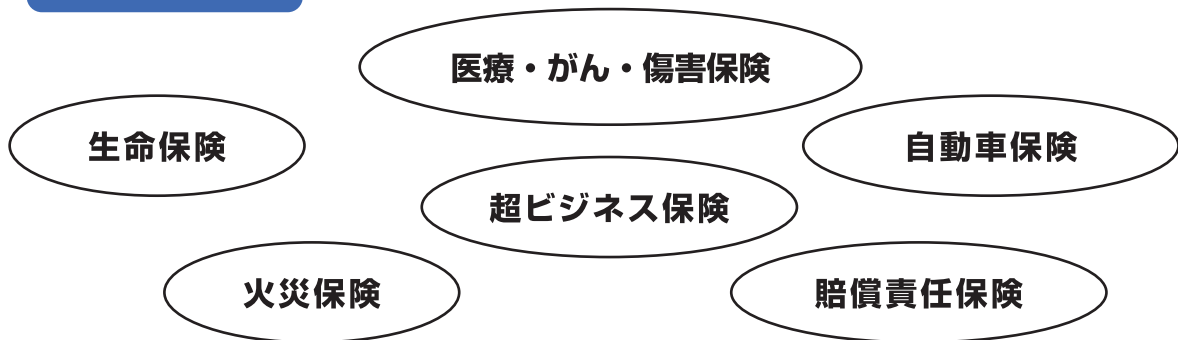
大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-3-14
ナンデ印刷株式会社
電話 (06) 6944-9244

大阪鋌螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鋌螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご利用ください。

取扱商品



*生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)になります。

**この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。**



お問い合わせ先

大阪鋌螺卸商協同組合	〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10 ツチノビル
担当:中西・小林	TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514
提携代理店	株式会社東海日動パートナーズ関西 担当:三宅
引受保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 大阪公務課
	TEL 06-6649-6727
	TEL 06-6910-5033